



平成21年度一般会計補正予算(第4号)及び特別会計補正予算4議案が可決されました。

一般会計

公共交通実証運行事業

現在運行しているバスの乗車状況と問題点について。

A 総務人権推進課長 20年度の利用実績は、全体で12万2012人、1日平均約338人であった。また、広報で配布したアンケートで155件、その他に437件の意見が寄せられ、多くが循環型のバス運行では時間がかかるなどの意見であったため、目的にまっすぐ行けるような運行とした。利用者数を3倍にする計画であるが、今まで通っていた場所を通らなくなる等の問題もある。自治会長の意見は聞いたのか。

A 総務人権推進課長 バス路線の変更については、今後自治会長の意見も聞きながら、柔軟に対応していきたいと考えている。
Q バスとタクシーの利用になる

が、乗り換えの料金は。

A 総務人権推進課長 一般の利用者は、初めに乗車料金200円を支払えば、必要に応じ乗り継ぎ券を発行し、目的地までは何回でも乗ることが出来る。



庁舎を出発する「ふれあい号」

南西部区域企業誘致奨励金

Q 企業誘致条例の果たした役割と効果について。

A 産業振興課長 奨励金の対象となる企業は法人22社で、対象とならない企業等を含めると、合計37社の企業が進出している。奨励金制度があったため来てくれた企業もあると思われる、大きな成果があったものと考えている。

市道758号線整備事業

Q 事業の内容について。

A 道路建設課長 まちづくり交付金を導入して5か年で整備する計画であるが、当初見込んでいた地権者以外の土地を前倒して

取得できるよう変更したことに伴い、建物物件移転補償費が必要となったため、土地購入費を減額して補償金を増額するものである。

生活保護費

Q 6910万6000円増額の内訳は。

A 社会福祉課長 生活保護費の追加が6743万3000円、中国残留邦人等生活支援事業の追加が167万3000円である。

さいごい運営事業

Q 地域ケア施設「さいごい」の施設運営事業費466万円の増額理由は。

A 障害者福祉課長 市内の方から500万円の寄附があり、その一部を施設の空調設備改修と作業用の空圧圧縮機の購入に充てるものである。

特別会計

国民健康保険

Q 高額療養費保険者負担金5315万円の増額理由は。

A 保険年金課長 慢性腎不全等の特定疾病該当者の増加、所得の低下による非課税該当者の増加、高齢者の増加と医療技術の高度化などが原因と考えられる。

介護保険

Q 地域密着型介護サービス給付費2263万6000円の減額理由は。

A 高齢者福祉課長 小規模多機能型居宅介護サービス施設が市内に2か所あるが、このうち1施設が、登録者が少ないことと特定施設入所者生活介護サービスを進めるため、小規模多機能型居宅

介護サービスを1年間休止することによる。

一本松土地区画整理事業

Q 通信運搬費の増額理由は。

A 一本松土地区画整理事務所長 地権者あてのお知らせや、区画整理通信等の発送を、年4回の予定から6回に変更したため、郵送料の追加補正をするものである。地権者は1500人弱で、2回分の郵送料として23万4000円の追加となった。

若葉駅西口土地区画整理事業

Q 事業の進捗状況について。

A 若葉駅西口土地区画整理事務所長 20年度末現在の状況は、仮換地指定率が76・5割、建物移転率は33・3割、道路整備率は41・2割、雨水管整備率は38・1割、污水管整備率は49・7割である。

▼12月補正予算の状況(単位:千円)

会計別	補正額	補正後の額
一般会計	161,919	17,545,569
国民健康保険特別会計	54,428	5,957,646
介護保険特別会計	0	2,466,029
一本松土地区画整理事業特別会計	201	201,214
若葉駅西口土地区画整理事業特別会計	6,449	379,710

▼一般会計補正予算の内訳(単位:千円)

歳入(財源)の内訳	補正額
分担金及び負担金	1,413
国庫支出金	60,668
県支出金	21,133
寄附金	4,285
繰入金	4,658
繰越金	53,762
諸収入	16,000
歳入合計	161,919

歳出(使途)の内訳	補正額
議会費	△3,289
総務費	39,181
民生費	107,103
衛生費	△5,918
農林水産業費	△5,678
商工費	46,470
土木費	△9,807
消防費	6,895
教育費	△13,038
歳出合計	161,919